

平成 22 年 5 月 7 日

ご投資家の皆様へ

T&D アセットマネジメント株式会社

最近の世界金融市場の状況と弊社投資信託の基準価額への影響について

足許の市場動向

5 月 6 日の世界の金融市場は、ギリシャ問題への懸念が払拭されない中、リスク回避的な動きが加速し、世界的に株式市場は大きく調整しました。また、債券市場ではユーロ圏の信用不安の拡大からユーロ圏の周縁国の債券が売られる一方、質への逃避で米国、独国債が買われました。為替は対ユーロ中心に円高が進む展開となりました。

欧州連合(EU)は 5 月 2 日の緊急財務相会合で、国際通貨基金(IMF)とともに、財政危機に陥っているギリシャに対して今後 3 年間で 1,100 億ユーロの融資を実施することで合意しました。ただし、欧州の各国は議会の承認を得る必要があるほか、ギリシャが緊急財政措置を実際に実施できるかなど、政治的な不透明感を背景に懸念は根強く、市場は依然懐疑的に問題を捉えています。また、今回のギリシャの債務問題が長期化する可能性が高いことに加え、ポルトガルやスペインなどユーロ圏の他の国へ伝播することへの懸念や将来的なユーロ圏の分裂への危惧が、株式市場全般に対する下落圧力となっています。

こうした中、中国の株式市場においても、ユーロ圏の債務問題に加え、中国の不動産価格抑制に向けた政府の取り組みが経済成長を損なうとの懸念から、引き続き株価は調整しました。中国人民銀行は 5 月 2 日に預金準備率を 0.5% 引き上げる発表を行う(5 月 10 日より実施)など引き締め姿勢を明確にしており、将来的な利上げや元の切り上げが視野に入ってきていることが、相場の重石となっています。

5 月 6 日には、中国の大手不動産会社が、同社の不動産物件価格を一律 15% 値引き販売すると発表しましたが、これが今後の不動産各社の値引き合戦の過熱化につながるとの懸念が下げを加速させたようです。

今後の見通し

- 世界優良株ファンド(3ヵ月決算型) [愛称:プライム コレクション]
- 世界優良株ファンド(毎月決算型) [愛称:プライム コレクション(毎月決算型)]
- 世界優良株ファンド(ラップ向け) [愛称:プライム コレクション(ラップ向け)]

米国株式市場は、各国の出口戦略に伴う引締め政策や金融機関への規制などの懸念材料から上値は重いものの、企業業績の回復を背景とし底堅く推移すると予想しています。一方、欧州株式市場は、ギリシャやスペイン、ポルトガルなどの財政悪化による信用不安や金融機関のバランスシート調整の遅れなどリスク要因を抱えており、短期的には、値動きの大きい相場展開となると予想しています。

- コスモ・中国株厳選ファンド [愛称:百花繚乱]
- 中国株厳選ファンド 3ヵ月決算型 (百花繚乱 3ヵ月決算)
- 中国環境関連ビジネスファンド [愛称:グリーンチャイナ]

過剰流動性の抑制策およびインフレに対する懸念が市場の上値を抑えており、中国及び米国の金融政策動向が、今後の市場を見る上で重要と考えています。中国及び米国は近々出口戦略を実行する可能性は低く、状況を注視しつつ、金融緩和の状況からの転換を序々に図るスタンスをとると考えています。

中国企業の企業業績見通しは上方修正傾向にあり、良好である一方、バリュエーションは過去平均でみて割高感がないため、年央に向けて政策リスクが弱まるにつれ、中国・香港株式市場は上昇に向かうとみています。

- アジア・ダブルプレミア・ファンド [愛称:龍虎]

ASEAN 株式市場は、ギリシャやポルトガル、スペインなどの財政赤字問題を背景としたリスク資産からの逃避の影響を受け、短期的には地合いの弱い相場展開を予想します。しかし、ファンダメンタルズは良好で、企業業績も回復基調であることなどから、シンガポールやインドネシアを中心に、中期的には株式市場の上昇を予想しています。

なお、中国の今後の見通しは前述の通りです。

以上

◆ 弊社ファンドへの影響

ファンド名	平成 22 年 5 月 6 日 基準価額 (円)	平成 22 年 5 月 7 日 基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
世界優良株ファンド(3ヵ月決算型)	5,800	5,501	▲ 299	▲ 5.16
世界優良株ファンド(毎月決算型)	6,664	6,320	▲ 344	▲ 5.16
世界優良株ファンド(ラップ向け)	6,543	6,206	▲ 337	▲ 5.15
コスモ・中国株厳選ファンド	9,957	9,382	▲ 575	▲ 5.77
中国株厳選ファンド3ヵ月決算型	7,609	7,169	▲ 440	▲ 5.78
中国環境関連ビジネスファンド	11,942	11,202	▲ 740	▲ 6.20
アジア・ダブルプレミア・ファンド	8,002	7,582	▲ 420	▲ 5.25

◆ 市況情報

	平成 22 年 4 月 30 日	平成 22 年 5 月 6 日	騰落率 (%)
MSCI-KOKUSAI インデックス	4,553.12	4,264.03	▲ 6.35
MSCI チャイナ	63.59	59.70	▲ 6.12
MSCI ゴールデンドラゴン指数	190.67	179.85	▲ 5.67
MSCI 東南アジア指数	991.75	947.00	▲ 4.51

海外の市場については基準価額への影響を考慮し、4月30日から5月6日としています。

(小数点第2位以下四捨五入)

	平成 22 年 5 月 6 日	平成 22 年 5 月 7 日	騰落率 (%)
米国ドル(*)	93.63	91.54	▲ 2.23
ユーロ(*)	120.13	115.42	▲ 3.92
英国ポンド(*)	141.73	136.18	▲ 3.92
香港ドル(*)	12.06	11.77	▲ 2.40

(*) 為替レートは三菱東京 UFJ 銀行の対顧客公示相場の仲値

(小数点第2位以下四捨五入)

出所:ブルームバーグ

文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。海外株式市場のデータは基準価額への反映を考慮して1営業日前のものを使用しています。

MSCI-KOKUSAI インデックスは MSCI が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを捉える指数です。当インデックスに関する全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その正確性及び完全性を MSCI は何ら保証するものではありません。その著作権は MSCI に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

MSCI チャイナ指数は、MSCI が開発した中国の株式市場の動きを捉える株価指数です。

MSCI 東南アジア指数(税引前配当込み)は、シンガポール・マレーシア・インドネシア・タイおよびフィリピンの MSCI 指数で構成されています。

MSCI ゴールデンドラゴン指数(税引前配当込み)は、中国・香港・台湾の MSCI 指数で構成されています。

上記の指数に関する情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その正確性及び完全性を MSCI は何ら保証するものではありません。その著作権は MSCI に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

本資料はご投資家の皆様に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込に際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全てご投資家の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

【お客様には以下の費用をご負担いただきます】

ご購入時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料・・・上限 3.15%(税込)

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬・・・上限 1.995%(税込)

その他費用・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、予めその料率、上限額等を具体的に示すことができません。

ご換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額・・・上限 0.5%

当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

(ご注意)

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&D アセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ 当社の概要

商 号 : T & D アセットマネジメント株式会社

登録番号 : 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 357 号

加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会